

本稿は、10月6日時点で利用可能であった
情報をもとに記述されている。

2011年10月7日
日本銀行水戸事務所

茨城県金融経済概況(2011年9月)

1. 概 要

県内景気は、輸出が震災前の水準をほぼ回復したほか、個人消費も乗用車の供給制約が解消されつつあり、生産も殆どの業種でほぼフル生産となるなど、全体として持ち直しの動きが続いている。先行きについても緩やかな回復経路に復していくことが期待されるが、当面は海外経済や為替相場の動向など下振れリスクに留意する必要がある。

最終需要をみると、輸出は、好調な海外需要を背景に殆どの品目が震災前の水準まで回復している。個人消費は、家電の販売が前年を下回っているものの、乗用車販売が前年水準まで回復し、大型小売店の売り上げも堅調に推移している。一方、観光は厳しい状況が続いており、公共投資や住宅投資も減少している。

こうした中で、殆どの業種がほぼフル生産となっており、さらに生産水準を高める先もある。

雇用・所得環境は、厳しい状況が続いているが、有効求人倍率などに改善傾向も窺われる。

消費者物価(除く生鮮食品)は、5か月連続して前年を上回った。

金融面をみると、預金残高が引き続き高い伸びとなっており、企業金融も総じて落ち着いた状況が続いている。

2. 実体経済

(1) 公共投資

8月の公共工事請負金額(工事場所ベース)は、市町村からの発注減少を主因に、前年を下回った。

▽ 公共工事請負金額(工事場所ベース) (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	▲10.0	▲1.6	2.5	▲22.9	0.7	▲4.1	▲22.7
全国	▲14.8	▲3.2	▲9.3	▲14.1	▲3.4	▲15.9	3.5

(2) 輸 出

好調な海外需要を背景に、一般機械(建設機械等)、鉄鋼、輸送用機械(自動車部品等)が震災前の水準まで回復しているほか、電子部品・デバイス(半導体関連等)も同水準を回復しつつある。

(3) 設備投資

9月短観調査(企業短期経済観測調査)結果をみると、2011年度の設備投資は、電気機械などで被災した設備の復興投資が実施されるほか、海外需要が好調な一般機械(建設機械等)や輸送用機械(自動車部品等)などでは能力増強投資が見込まれており、前年を3割方上回る計画に上方修正されている。

(4)個人消費

8月の大型小売店売上高(日本銀行水戸事務所調べ、11 か店ベース)は、天候要因もあって夏物衣料品や食料品の売り上げが伸び悩んだものの、下旬には秋物衣料品が好調な出足をみせるなど、全体では前年を僅かに上回った。

9月入り後も、保温効果を謳った衣料品の売れ行きが伸びるなど、堅調に推移した模様。

▽ 大型小売店売上高 (前年比、%)

		2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	日本銀行水戸事務所調べ	3.9	▲11.9	▲0.5	5.3	2.4	5.6	0.3
	経済産業省調べ	0.0	▲4.8	1.0	1.8	1.7	4.6	p 0.2
全国	経済産業省調べ	▲0.5	▲2.6	▲1.6	▲2.5	▲0.5	0.8	p▲2.6

(注)「p」は速報値。

9月の乗用車新車登録台数は、供給制約の解消を主因に、前年水準まで急速に回復した。

▽ 乗用車新車登録台数 (前年比、%)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	▲26.1	▲39.3	▲20.7	▲26.3	▲27.8	▲34.2	0.0
うち普通・小型	▲30.3	▲41.5	▲25.4	▲28.6	▲34.1	▲39.1	▲1.6
全国	▲25.6	▲33.6	▲17.8	▲21.9	▲25.6	▲26.0	▲2.1
うち普通・小型	▲28.6	▲36.5	▲19.8	▲23.9	▲30.0	▲29.5	0.8

このところの家電販売状況をみると、災害対策・節電用の石油ストーブなど暖房器具が順調な出足をみせているものの、薄型テレビやDVDプレーヤー等の売り上げが引き続き前年を大きく下回っているほか、冷蔵庫など白物家電の売り上げも減少しており、全体では前年を大きく下回っている模様。

観光については、為替円高化を背景に、海外旅行に回復の動きがみられた。一方、県内の主要観光施設等への入込状況をみると、やや回復しつつあるものの総じて前年を下回っており、厳しい状況が続いている。

(5)住宅投資

8月の新設住宅着工戸数は、住宅エコポイント適用期限(7月末)前の駆け込み着工の反動もあり、前年を大きく下回った。

▽ 新設住宅着工戸数 (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	10.9	2.4	▲4.0	18.0	▲12.7	49.5	▲22.2
うち分譲	▲4.0	▲8.0	21.4	▲26.4	24.2	▲23.2	▲62.1
全国	6.9	3.2	4.1	6.4	5.8	21.2	14.0
うち分譲	40.2	21.9	24.0	42.9	21.6	33.2	31.2

(6)生産

輸送用機械(自動車部品等)が震災後の落ち込みを回復するために生産水準をさらに高めている。また、電気機械(家電製造)、一般機械(建設機械等)、鉄鋼、化学に加え、電子部品・デバイス(半導体関連等)も震災前の水準を回復し、ほぼフル生産となっている。

▽ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数の前月<期>比、()内は原指数の前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	▲0.1 (7.8)	▲5.9 (▲8.3)	▲3.4 (▲7.1)	30.7 (0.3)	9.8 (10.7)	▲5.1 (▲3.5)	n.a. (n.a.)
全国	▲0.1 (5.9)	▲2.0 (▲2.5)	▲4.0 (▲6.8)	6.2 (▲5.5)	3.8 (▲1.7)	0.4 (▲3.0)	p 0.8 (p 0.6)

(注)「p」は速報値。

(7)雇用・所得環境

引き続き厳しい状況にあるとみられるが、有効求人倍率が緩やかに回復しているほか、一部の業種で新規求人数や所定外労働時間が引き続き増加するなど改善傾向も窺われる。

▽ 有効求人倍率 (季節調整済、倍)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	0.54	0.60	0.61	0.61	0.62	0.65	0.67
全国	0.57	0.62	0.62	0.61	0.63	0.64	0.66

3. 物 価

7月の消費者物価(除く生鮮食品)は、石油関連製品価格の高止まり等から、5か月連続して前年を上回った。

▽ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	▲0.3	▲0.2	0.3	0.3	0.2	0.6	n.a
全 国	▲0.5	▲0.8	▲0.2	▲0.1	▲0.2	0.1	0.2

(注)全国の2011年1月以降は、2010年基準。

4. 金 融

(1) 預金・貸出

8月末の県内金融機関の預金残高は、震災後の手許資金積み増しや地震保険金の入金などの影響から、14兆7,878億円、前年比+4.5%と高い伸びが続いている。

一方、貸出残高は、7兆3,825億円、同▲0.7%と18か月連続して前年を下回った。

(2) 貸出約定平均金利

8月末の県内金融機関の貸出約定平均金利(ストックベース)は、2.178%と10か月連続して前月を下回った。

(3) 銀行券

9月中の銀行券の動きをみると、発行が545億円、還収が123億円で、422億円の発行超となった(前年は303億円の発行超)。

(4) 企業金融

9月短観調査結果でも、製造業を中心に資金繰りが苦しいとする先が引き続きみられた(製造業の資金繰り判断「苦しい」超幅▲8<6月調査▲7>)が、復興支援のための各種融資・保証の利用もあり、総じて落ち着いた状況が続いている。

5. 企業倒産

9月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数(12件)、負債総額(23億円)ともに、大型倒産があった前年を大きく下回った。

以 上